

—ホッとしのる21—

自分たちが住む篠路のまちをよく知り、そして自然を愛し、豊かで楽しく住みよいまちづくりを進めようと、地元の有志が集まり結成した団体。最近では、地域の自然を守り育てることを目的に、同地区にある伏籠川河畔での野鳥観察会や五ノ戸の森緑地周辺の清掃

活動などを実践している。また、自然と調和がとれた住環境を実現するために、町内会や区と連携し、住宅地近くの公園内にうっそうと生い茂っていた樹木をバランズよく間引くなど、人と自然が共存できる自然環境整備活動にも積極的に取り組んでいる。



屯田防風林を歩きながら、防風林内の様子やクラブの取り組みについて、石黒北区長に説明する同クラブのメンバーたち



地元の小学生と協力し合いながら、五ノ戸の森緑地の樹木に樹名板を取り付ける会員たち

—新琴似六番通街づくりクラブ—

新琴似六番通の拡幅工事計画をきっかけに、緑豊かで暮らしやすいまちをつくらうと、地元住民が集まり結成した団体。住民たちの声から基本理念「人と花・緑が調和したリラの花咲く街を目指して」を策定し、六番通の整備のほか、地域の緑化活動にも取り組む。

屯田防風林と民家の庭に計千五百本以上のリラを植樹したほか、今年から「一鉢運動」と題して、各家庭の玄関先や庭に好きな花などを並べ、地域中を緑で飾る運動も展開。市に要望するだけではなく、住民自らが熱心に議論し、実際に汗を流して活動している。